

平成29年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあいまれっとごるふあいこうかい		地域名	落合	地区					
	落合マレットゴルフ愛好会		会員数	106	人					
ふりがな 代表者名	いぐち あつし		延べ 参加人数 内(会員数)	1,477 人(1,379 人)						
	井口 篤			・月例会 260人 ・毎月練習 242人 ・毎月清掃 除雪作業 372人 ・3大大会 120人 ・三世代交流会 85人 ・東部六地域交流会 85人 ・初打ち 42人 ・中学生との交流会 55人 ・その他大会 216人						
事業名	マレットゴルフの普及を通して高齢者の居場所と健康づくり事業									
総事業費 内(補助金額)	463,800 円 (200,000 円)		実施期間	平成 29 年 6 月 1 日から 平成 30 年 3 月 23 日まで						
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	①				
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流					
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育					
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他							
事業の目的										
落合石畳マレットゴルフ場が今年度4月にオープンした。マレットゴルフは、森林を活用した自然の中で、手軽に子どもからお年寄りまで個々の技量で出来るスポーツです。歩きながら、笑いながら楽しめ、地域の活性化、健康づくり、高齢者の福祉健康づくりに寄与することを目的とする。										
具体的な活動内容										
<input type="checkbox"/> 月例会、3大大会、東部六地域交流会、三世代交流会、ルール講習会を開催し、落合地区だけでなく広く多くの方と、子ども達とのふれあい交流会を開催する事ができた。 <input type="checkbox"/> 協会の大会及び、他地域の大会にも参加してマレットゴルフの楽しさと仲間づくりができた。										
主な活動の流れ										
事業 内容	・がんサポ審査会 ・月例会	・月例会	・東部六地域交流会 ・月例会	・第19 回大会	・月例会	・月例会	・三世代マレット ゴルフ交流会	・第20回大 会	・初打ち	・月例会
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)										
<input type="checkbox"/> 落合にマレットゴルフ場が出来たことで、落合の子ども達もマレットゴルフ交流会に参加し、楽しみながら高齢者とふれあい、三世代交流事業ができた。 <input type="checkbox"/> マレットゴルフ場が近くにある事で、健康を兼ねたスポーツがいつでもでき、高齢者などの健康づくりに寄与することができた。 <input type="checkbox"/> マレットゴルフを通して、地域の人たちのコミュニケーションを図る事ができた。										
今後の展開(自立に向けた活動)										
<input type="checkbox"/> 大会を多く開催することにより、より多くの方がマレットゴルフ場を利用することができた。今後も健康促進を目的に大会を増やしていく。 <input type="checkbox"/> 引続き、三世代ふれあい交流事業を行う。 <input type="checkbox"/> 中津川市東部地区内の未組織地区の愛好会等の組織化支援を行う。										

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

■ 東部六地域マレットゴルフ交流会



■ 愛好会第19回大会



■ 三世代マレットゴルフ交流会



■ 初打ち



■ スティックボール10セット



■ 音響セット



ふりがな 団体名	あぎむらづくりじゅく 阿木村づくり塾		地域名	阿木地区			
ふりがな 代表者名	すずき としゆき 鈴木 利之		会員数	15人			
事業名	阿木の個性の掘り起こしと魅力発信		延べ 参加人数 内(会員数)	138人(116人) 企業調査資料まとめ再確認 15名 x 6回=90名 冊子掲載内容・取材他 8名 x 6回=48名			
総事業費 内(補助金額)	258,700円 (200,000円)		実施期間	平成 29 年5 月17日から 平成 30 年2 月 28 日まで			
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	④・⑪	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的							
阿木の個性の掘り起こしと魅力発信							
阿木の財産「観光・文化・特産品・もの作り(企業・個人・団体)」を掘り起こし、阿木住人はもとより、地域外の方々にも「阿木の魅力」を発信し、生活環境の充実(空き家対策・住み良い地域づくり等)を推進し地域の活性化を図るもの。							
具体的な活動内容							
阿木地域の観光・文化・特産品・もの作りについて調査(アンケート)を実施。掘り起こし調査表よりジャンル(業種別)に仕分けし、団体・企業への取材。阿木の財産「観光・文化・特産・もの作り」・魅力を、冊子(マップ)にて発信。 *阿木をもっと知ってほしくて、見てほしくて、阿木の新しい物語「阿木噺」をつめこんだ自己紹介冊子							
主な活動の流れ							
事業 内容	阿木個性の掘り起こし・もの作り企業調査						
	冊子・マップ内容の方向性						
	* 毎月(24日)定例会時情報の共有・コアメンバーによる編成会議						
	アンケート内容の集約		取材調査	取材調査	スケジュール(素材・タイトル等)		
					冊子発刊		
	5月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください)							
集落支援員の協力を得て、阿木の個性の掘り起こし調査を実施。調査表回収件数→110件 (内情報提供・PR件数→72件) 冊子(マップ)のイメージ作りに苦慮 (社)ヒガシミノ団地/松下氏のサポートにより、カテゴリー分けをして定住のページに企業名を掲載、最初の数ページは「人」に着目した情報を載せることでまとまる。							
今後の展開 (自立に向けた活動)							
阿木の個性の掘り起こし調査から情報提供・PR等を参考にし、地域の情報発信・イベント・交流(観光・文化・特産・ものづくり等)の開催に向け更なる充実を図り、又阿木の魅力をアピールし地域の活性化に向けた活動を推進するもの							

平成 29 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	やまぐちまちづくりきょうぎかいちいきしんこうぶかい		地域名	山口	地域																								
	山口まちづくり協議会 地域振興部会		会員数	15	人																								
ふりがな 代表者名	かち かずひと		延べ 参加人数 内(会員数)	220 人(54 人)																									
	可知 和人																												
事業名	「賤母の森」川と緑の公園整備事業																												
総事業費 内(補助金額)	236,480 円		実施期間	平成 29 年 5 月 14 日から 平成 30 年 3 月 25 日まで																									
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	③④																								
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他																									
事業 内 容	事業の目的																												
	道の駅「賤母」の国道向かいの木曾川左岸の法面修復、環境整備の実施により、地域の憩いの場を形成する。 緑化木の植栽管理、不法投棄物の撤去、地域イベントの盛り上げを図る。																												
	具体的な活動内容																												
	・賤母の森 川と緑の公園づくり まち協、関電労組、市職労が行う協働作業で周辺緑化の整備を実施した。 第1回 5/14 第2回 7/2 第3回 8/6 第4回 9/3 併せて、山口まち協 地域振興部会が中心となって、法面に無造作に捨てられた不法投棄物の撤去と 不法投棄防止看板による啓発を実施した。																												
	主な活動の流れ																												
	<table border="1"> <tr> <td>賤母の森環境整備作業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第1回 5/14</td> <td>第2回 7/2</td> <td>第3回 8/6</td> <td>第4回 9/3</td> <td>2/25</td> <td>3/25</td> </tr> <tr> <td>草刈</td> <td>草刈</td> <td>ゴミ回収</td> <td>草刈</td> <td>植栽準備</td> <td>植栽</td> </tr> <tr> <td>伐採</td> <td>伐採</td> <td>撤去</td> <td></td> <td></td> <td>(花桃)</td> </tr> </table>					賤母の森環境整備作業						第1回 5/14	第2回 7/2	第3回 8/6	第4回 9/3	2/25	3/25	草刈	草刈	ゴミ回収	草刈	植栽準備	植栽	伐採	伐採	撤去			(花桃)
	賤母の森環境整備作業																												
第1回 5/14	第2回 7/2	第3回 8/6	第4回 9/3	2/25	3/25																								
草刈	草刈	ゴミ回収	草刈	植栽準備	植栽																								
伐採	伐採	撤去			(花桃)																								
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)																													
<ul style="list-style-type: none"> ・賤母の森 川と緑の公園づくりに併せて植栽箇所の準備と不法投棄物の回収撤去作業を行なった。 ・この場所が急峻で作業を行なうにはたいへんで、大きな雑木があり手間取ったことで、 ・秋のイベント「賤母ごへーまつり」を予定していたが、悪天候により実施できなかった。 ・不法投棄物対策については、現状があまりにもひどいため、もう一度対策を考える必要がある。 																													
今後の展開(自立に向けた活動)																													
地域の憩いの場としての「賤母の森」環境整備作業を継続実施する。																													

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

【賤母の森 川と緑の公園づくり】

まち協、関電労組、市職労による共同緑化作業



以前に植栽したツツジが満開です。



【不法投棄物処理】

法面に不法投棄物が散乱している。



不法投棄物引き上げ作業



不法投棄監視中看板設置



不法投棄物運搬処理作業



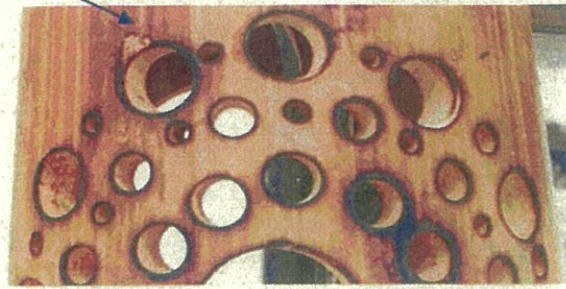
ふりがな 団体名	まごめちいきづくりすいしんきょうざいかい		地域名	馬籠		地区
	馬籠地域づくり推進協議会		会員数	19		人
ふりがな 代表者名	おおわき かずと		延べ 参加人数 内(会員数)	52		人(52 人)
	大脇 和人					
事業名	竹あかりプロジェクト事業					
総事業費 内(補助金額)	250,000 円 (200,000 円)		実施期間	平成 29 年 6 月 29 日から 平成 30 年 2 月 10 日まで		
事業 分類	番号	②		番号	③ ④ ⑥ ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの発展に寄与する事業			⑤林業 ⑥文化・生涯学習		
事業 内容	事業の目的					
	バンブーランプを製作することにより、世代を超えた同じ目的を持ったことで、製作者間の交流・展示後の話題提供などでの地域住民の交流に繋がる。					
	具体的な活動内容					
	バンブーランプ製作し、馬籠ルネッサンス事業の島田公園ライトアップ・あかり街道の展示を目標とした長期計画。 今年度は、バンブーランプ製作のための講習会、その後各自での製作活動に繋がるデザインどおりの穴泣け練習。 デザインは、プロのバンブーランプ活動者のは、著作権が発生しているとのことなので、地域でのデザイン考案・デザイン画作成(CADでのデザイン画作成も行う)・テスト作品制作・ライトの当たり方のテストを兼ねたテスト作品展示(島田公園)					
	主な活動の流れ					
		6/29/2018	7/22/2018	8/10/2018		
	製作会議	講習会	竹切り	デザイン制作・・・継続中 油抜き(竹表面焼き)・微止め・・・継続中 各自製作・・・継続中 島田公園展示		
	4月	6月	8月	10月	11月	12月 2月
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
講習会を7月に行い、考えていたよりも、見学体験したことにより、自分達でも時間を見つけて、製作していくことができる、わかったことで興味がよりわいてきた。 穴をドリルで開けるまでの作業は、地味なものだが工程的には重要な部分でもあることやドリルを使っての製作作業は子供が工作活動するのに似ており、集中と根気が必要でデザインどおりに穴を開けることは簡単なようだが、写真の矢印のような竹が剥けるようなことがあると、見た目もよくないので、慣れるまでたいへんでした。また、ライトを入れてみたときと、穴だけのときとの印象も違うので、デザインを作成することも、難しい。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
講習後、若い世代がバンブーランプを製作したいと申し出てきたことで、製作世代が広がったが、参加したい人が、道具を全て揃えるのはたいへんなことなので、その問題を解決したい。 道具に関しては、今後もこの活動を継続するためにそろえる必要性を考えており、各自が制作活動しやすい環境を整えることが、活動の幅や参加者が活動しやすいと考えている。 作品については、各自のテンポで製作の継続中である。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

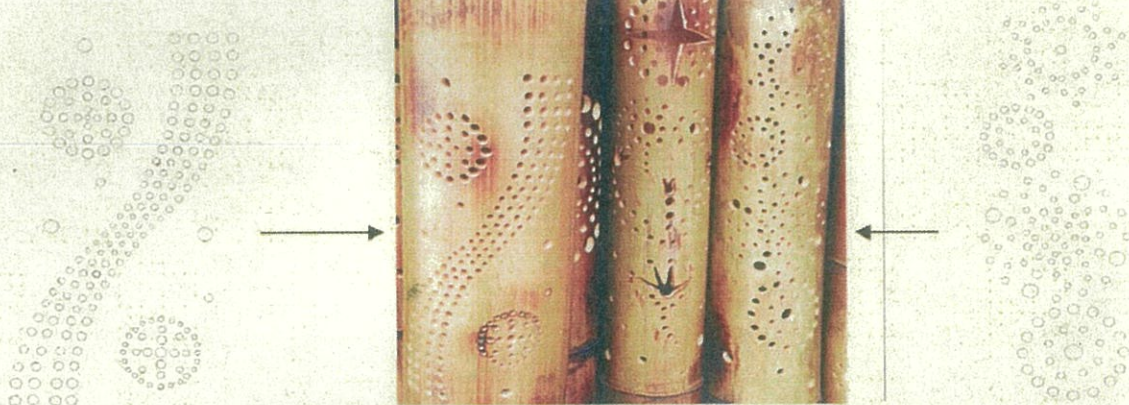
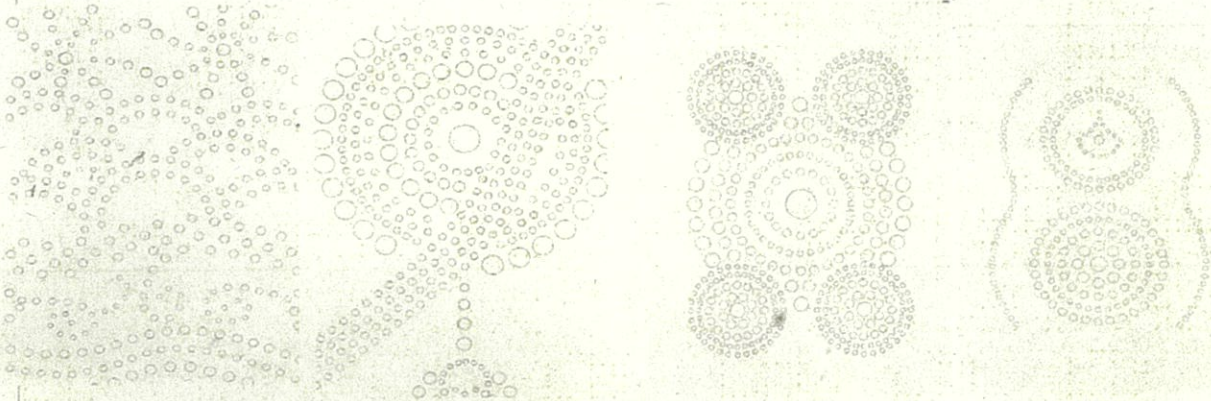


右の青竹を左のように加工

矢印のように穴をあけたときに竹が剥けないように気をつけるのが、ドリルを使いこなすコツ



デザイン



作品の一部



平成29年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おとひめさくらをまもるかい 乙姫桜を守る会		地域名	坂下 地区	
ふりがな 代表者名	のむら きんいち 会長 野村欣市		会員数	正会員 4人 + 16人 賛助会員 55人 (55人)	
事業名			延べ 参加人数 内(会員数)	6月 11人・7月 2人 8月 19人・9月 2人 10月 6人・11月 14人	
総事業費 内(補助金額)	251,070円 (平成30年1月1日現在) (200,000円)		実施期間	平成 29年 7月 15日 から 平成 29年 11月 19日 まで (一部継続中)	
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ③ 環境 ④ 観光・交流 ⑩ 文化・生涯学習
	② 地域の特色をいかした地域づくり に寄与する事業				
事業 内容	事業の目的				
	現存する乙姫農面道の枝垂桜を守り育てる事により、景観・環境整備と、地域住民の協力に依る郷土愛を育くむ一助とし、ひいては「まち」の発展に寄与する事を目的とし、特に本年度は、若い人の参加を求め、桜並木の欠落した部分の新たな植樹による景観整備を主な事業としました。				
	具体的な活動内容				
	<ul style="list-style-type: none"> エリア内の草刈りを中心とした保全・整備作業。 新々会員(特に若い人)の参加を求めべくPR活動。 桜並木の欠落(立枯れ等)の苗木の植樹。 				
	主な活動の流れ				
	草刈り・整備作業	会員募集 パンフレット作成	植樹場所 法等打合せ 現地確認 草刈り・整備作業	会員募集パンフレット 配布(一部郵送作業) (募集活動の通算)	植樹場所 の行政の打 合せ 植樹準備 (穴掘り作業)
6月	7月	8月	9月	10月	11月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
<ul style="list-style-type: none"> 新々会員、特に若い人の参加を求め、植樹当業者(年齢85才前後)を通じて、その子(65才前後)、その孫(30才前後)の参加を求めたが、難航。目下、当業者の息子の賛助会員の申し込みに止まり、今後も継続するも対応を考えるとできません。 桜の苗木を植樹し、桜並木の綺麗な姿を楽しめます。一方、今後の管理(特に道路交通障害)に課題が残った。 					
今後の展開(自立に向けた活動)					
<ul style="list-style-type: none"> ホウニテア活動に、若者の参加を促したい。新しい方策を検討したい。 当エリアは、馬籠→桜の湖→夕森公園の中心で、竜宮峡、P年後の4=9(雨)通算、景観・環境、観光に着眼している(光明姫の場所である為、より一層の保全整備に努むたい。 					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



←草刈作業



←植樹場所表示
植樹穴堀り
↓



植樹作業



植樹完了 →



平成29年度 **がんばる地域サポート事業** 事業実績報告書

ふりがな 団体名	こうようのみちせいびじっこういんかい 紅葉のみち整備実行委員会		地域名	川上地区											
			会員数	9人											
ふりがな 代表者名	おがた ひろみち 小縣 博道		延べ 参加人数 内(会員数)	40人(13人)											
事業名	紅葉のみち整備事業			夕森遊歩道環境整備20人(5人) 登山道整備作業 20人(8人)											
総事業費 内(補助金額)	363,310 円 (200,000 円)		実施期間	平成29年5月21日から 平成29年9月24日まで											
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	③ ④									
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流												
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育												
③前の二つの他、地域づくりの発展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他													
事業 内容	事業の目的														
	川上地域づくり計画の基本方針の一つ「自然を守り、美しいかわうえをつくります」及び、計画の骨子「全村公園化の推進」を具現し、川上を訪れるウォーカーやトレッカーが、安全で快適に自然を満喫してもらうとともに、観光産業の振興、住民の誇れる地域づくりを目的とする。														
	具体的な活動内容														
	紅葉のみち整備実行委員会で現地調査、計画策定 5月21日 夕森公園遊歩道の景観整備、遊歩道路面整備作業 9月24日 夕森公園遊歩道の景観整備、登山道の修繕作業 (委託事業) 柵の木周辺立木伐採委託、夕森公園遊歩道整備委託														
	主な活動の流れ														
		現地調査				遊歩道環境整備									
	実行委員会開催	遊歩道環境整備		柵の木周辺立木伐採	遊歩道路面整備	登山道整備									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)														
	春と秋の夕森公園環境整備作業は、定着し実施されてきたが、年々参加者が減少している。参加促進について工夫していきたい。														
今後の展開(自立に向けた活動)															
紅葉のみち整備実行委員会は解散するが、「全村公園化」の推進はまち協が中心となり、地域住民の協力の下継続して実施していく。															

活動状況写真等 (6枚程度添付)

春の作業集合状況



竜神社遊歩道修繕作業



椎の木周辺伐採前



椎の木周辺伐採後



登山道整備作業



登山道整備後



遊歩道整備



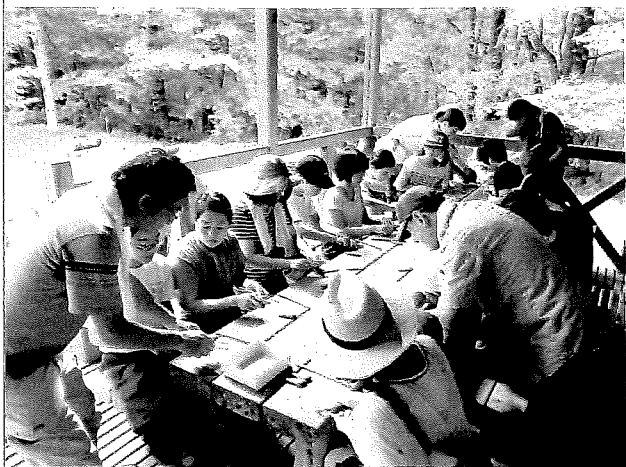
遊歩道整備



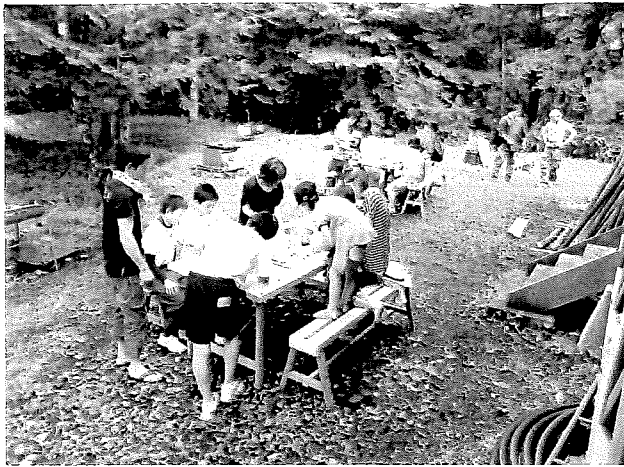
ふりがな 団体名	どあいしぜんがっこう		地域名	加子母		地区																																		
	どあい自然学校		会員数	10		人																																		
ふりがな 代表者名	たぐち ひろし		延べ 参加人数 内(会員数)	184		人(14 人)																																		
	田口大志																																							
事業名	どあい自然学校																																							
総事業費 内(補助金額)	315,000 円 (200,000 円)		実施期間	平成 29 年 6 月 1 日から 平成 29 年 12 月 31 日まで																																				
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ④・⑨																																			
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他																																				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業																																							
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業																																								
事業 内容	事業の目的																																							
	生活が便利になる一方で自然との触れ合いが減り、自然体験が不足しがちな子供達に「どあい自然学校」で自然体験を通して人間本来の「生きる力」にもう一度気付いてもらうしぜ教育の場を提供したい。火を起こして調理して片付ける、道具を手づくりして使いこなす自然学習・体験工作・野外体験を通して、すべて自分の手と頭を使って行う自然学校を開校する。また渡合エリアを活用し、リニア開通後や濃飛縦断自動車道開通後の「地域おこし」につながるように、またそこで雇用もうまれるように「どあい自然学校」の体験活動を開発し多くの住民が活用できるようにしたい。																																							
	具体的な活動内容																																							
	①ナイフを使用したマイ箸作り。②野外で手を汚さずハンバーグを作り、竹筒を利用してハンバーグを焼き、作ったマイ箸で食事をとる。③燻製器を使った燻製作り。④火おこし器を使って、火起こし体験。⑤今は使わなくなったマッチと、自然の中の枯れ木を使って火おこし体験。⑥渡合の川で、水遊び⑦渡合の夜を散策し、ランプの灯りで夜を過ごしたり、星空観察を行う。⑧神宮備林を散策。																																							
	主な活動の流れ																																							
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td colspan="2">←イベントの計画・周知→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">← イベントの実施 →</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">←イベントの報告・結果PR→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">←次年度に向け課題出し・計画→</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月</td> <td>2月</td> </tr> </table>							←イベントの計画・周知→							← イベントの実施 →							←イベントの報告・結果PR→							←次年度に向け課題出し・計画→							4月	6月	8月	10月	12月
	←イベントの計画・周知→																																							
	← イベントの実施 →																																							
	←イベントの報告・結果PR→																																							
	←次年度に向け課題出し・計画→																																							
	4月	6月	8月	10月	12月	2月																																		
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）																																								
今年も新たに加子母の地域の親子に参加していただき、多くの方が初めての渡合エリアで、知っていただく機会となりました。親子で共同作業も多く、親子や地域内でふれあう良い機会にもなりました。子供達はもちろん大人達も子供以上に楽しんで、渡合は素敵な場所でまた来たいとお声もいただきました。今年も新たに、燻製作り体験や、火おこし器を使っての火おこし体験もできました。過去最高の参加者となりましたが、相変わらずスタッフが不足し、親の協力によって運営ができる状況であった。スタッフもボランティアとなり、今後スタッフの確保と、スタッフへの賃金支払いが課題である。また渡合周辺での散策を行い、伊勢神宮とのつながりがある「神宮備林」は、特別な場所という事で、参加者に大変喜ばれた。夜の星空観察は残念ながら天候不良で出来なかったが、今後もやっていきたい内容です。この3年で地域の方々に渡合を知っていただけましたが、まだ渡合を知らない地域の方や地域外の方への募集活動が課題です。																																								
今後の展開（自立に向けた活動）																																								
活動を早い段階から計画し、周知・募集を行っていききたい。今まで行ってきた事を元に、システム化いつでも対応できる体制づくりもしたい。過去3年の活動風景写真を活用し、渡合の事・イベント内容の事・家族や仲間と渡合へ行きたいと思うようなチラシ作り・周知をしていききたい。渡合エリア・自然学校の活動のPRをチラシとともにSNSなどを活用していききたい。イベント内容も充実してきたが、2度3度と来てもらえるように、体験内容も増やしていききたい。そのために他の活動団体へ研修参加もしていききたい。一番の課題であるスタッフの確保、報酬の支払いなどの課題も解決できるような収入の確保も計画していく。そしてもう一つの課題となっている渡合への交通アクセス・悪路の整備道路乗用については、実績を積んで関係機関に要望していききたい。																																								

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等



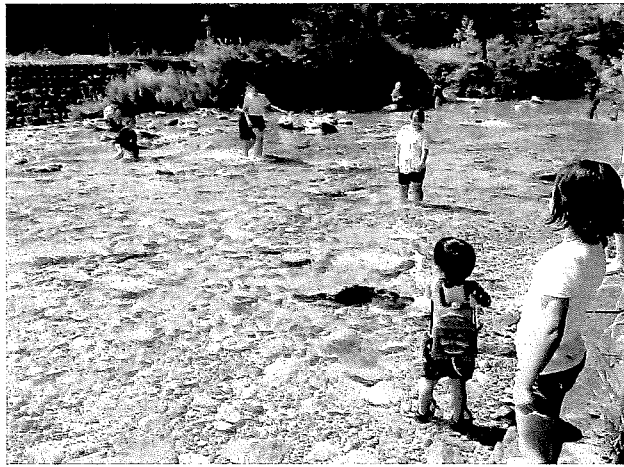
小刀を使ってMY箸作り



野外で竹筒ハンバーグ作り



出来上がった竹筒ハンバーグ



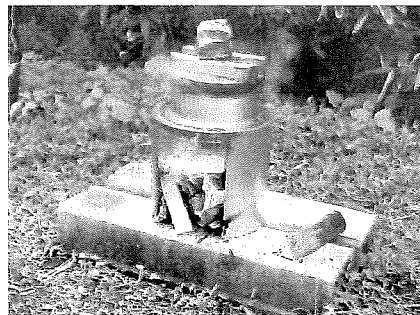
みんなで渡合の川で水遊び



火起こし体験



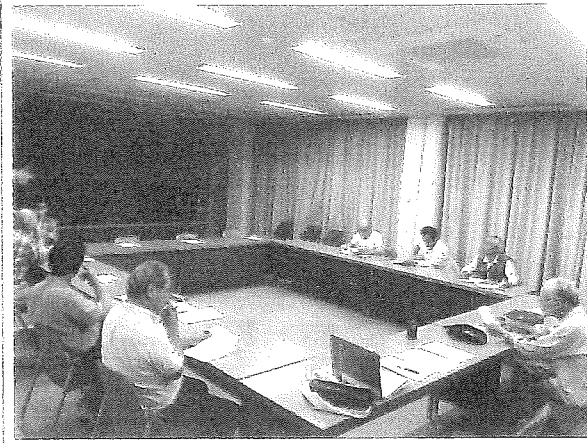
燻製作り



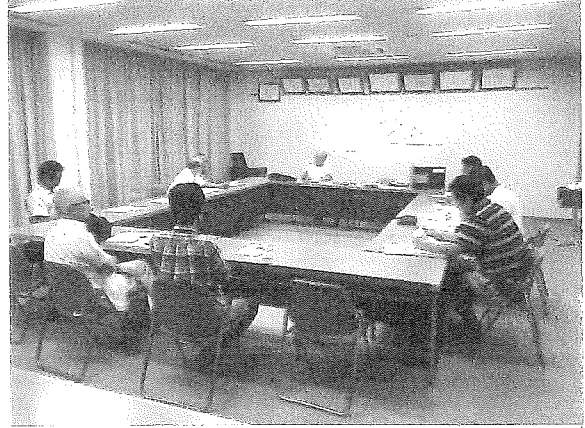
釜戸炊きご飯

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

第1回ミーティング(H29.6.26)



第2回ミーティング(H29.7.26)



防災訓練準備(H29.8.26)



防災訓練支援(H29.8.27)



レピータメンテナンス(H29.10.10)



ロールコールのためのメール送信

お世話になっております。水島です。
11月26日(日)19:07

11月26日(日) 19:07

お世話になっております。水島です。
11月26日(日)19:07

12月6日(水) 18:01

お世話になっております。水島です。
12月6日(水)18:01

12月16日(土) 19:44

お世話になっております。水島です。
12月16日(土)19:44

平成 29年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ひでよのきりかぶほぞんかい		地域名	高山		地区
	秀吉の切り株保存会		会員数	26		人
ふりがな 代表者名	こまだ よしあき		延べ 参加人数 内(会員数)	47 人(42 人)		
	駒田 義明			6月23日5人(5) 7月4日5人(5) 7月18日4人(4) 7月22日11人(11) 7月29日3人(3) 7月31日10人(9) 2月4日9人(7)		
事業名	秀吉の切り株保存事業					
総事業費 内(補助金額)	268,378 円 (200,000 円)		実施期間	平成 29 年 6 月 1 日から 平成 30 年 2 月 10 日まで		
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ④⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	朝鮮出兵時に豊臣秀吉の命令で伐採された切り株の保存と伝承を行い、観光客が増加する中、常磐神社、常盤座、秀吉の切り株をセットにしてPR及び売り出すことができる					
	具体的な活動内容					
	①切り株の腐敗の進行を止める処理の研究 ②見学者等の散策路の整備 ③見学者等の切り株への影響を防止する柵の設置 ④案内板、説明板の設置 ⑤説明用の資料の作成 ⑥関連する資料の収集や調査 ⑦草刈り等の周辺の環境整備					
	主な活動の流れ					
		保存会役員総会 保存会4役会	現地の確認 現状変更手続 材料調達	材料調達 保存工事	保存会4役会 保存会役員総会	保存会4役会
	4・5月	6月	7月	9月	12月	1・2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
旧散策路が急であり、以前設置した木製の階段の腐敗も進行して危険であった。それが緩やかで幅が広く、砂入れがされ安全に見学できるようになった。また、切り株の保護柵が無かったため、切り株に乗ってしまう見学者もあって腐敗や破壊が心配されていた。保存事業で周囲にしっかりした杭とロープの保護柵が設置され、腐敗や破壊の進行を弱めることが出来た。常盤座の客が常磐神社と切り株も回ることが増え、確実に見学者が増加している。高山区や区内の事業者からの材料や道具の援助もあり経費の節約ができた。保存会員のほとんどが高齢者のため、急斜面での材料の運搬や作業が苦しかった。今後幅広い層の保存会員を増やす必要がある。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
散策路がヒノキの間伐材であるため、腐敗が進行すると思われる。今後抗菌・防腐処理がしっかりとされた材料に交換したい。説明用のパンフレットが未完成である。常盤座、常磐神社、秀吉の切り株がセットになった新しいカラーの資料を作成したい。そのため、常盤歌舞伎保存会、常磐神社運営委員会とも協議したい。秀吉の切り株をめぐる歴史の学習を地元小学生や地域住民と共に進めたい。そのための教材作成や学習方法を研究したい。切り株の腐敗の進行を弱める方法が不明のままである。専門家や専門機関から学んで実施したい。現在は、歌舞伎保存会を中心にした有志に頼った説明が主である。他の方法も考えたい。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



保存工事前の切り株と旧散策路



防護柵の設置工事



散策路の階段と手すり設置工事



完成した防護柵



完成した散策路



完成した案内板

平成 29 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	わくわくみあい	地域名	蛭川	地区		
	わくわく組合	会員数	17	人		
ふりがな 代表者名	ふるた ひろゆき	延べ 参加人数 内(会員数)	267	人(24	
	共同代表 古田浩之					
事業名	森のままっこ(子育てサロン) & 自然体験塾					
総事業費 内(補助金額)	248,300 円	実施期間	平成 29 年 6 月 13 日から			
	200,000 円)		平成 30 年 3 月 20 日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	①・⑨	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	<p>わくわく組合は、蛭川の人や自然を活かし、みんなでわくわくすることを考え、みんなで実行しながら美しく暮らせる地域にしていくことを目指して発足しました。</p> <p>多くの地域で言えることですが、自然に囲まれた環境に住んでいるにもかかわらず、その中に入る人は昔に比べかなり減ってしまいました。私たちは自然から学ぶことの多さを実感し、そのことを少しでも多くの人と共有したいと考えています。自然に触れながら、人と自然、人と人、さらには人と社会との繋がりを見つめ直すきっかけづくりとなればと考えこの事業を企画しました。</p>					
	具体的な活動内容					
	<p>【もりのままっこは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人から子供まで、自然との触れ合いの機会を持つために整備した自然環境の中で子育てサロンを行う。また、子育て世代の交流の場となるだけでなく、助産師が常駐することにより妊婦さんから参加でき、いろいろな相談にも対応できる。 【自然体験塾】 自然の中で環境教育を行いながら、縄文土器づくりを行う。古の文化を学びながらの体験活動。 					
	主な活動の流れ					
		もりのままっこ	毎月2回、平日の昼間に開催			
		【自然体験塾】	7月: 縄文土器づくり		10月: 野焼き	
		4月	6月	8月	10月	12月 2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加された方々からは、整備された森の居心地の良さを実感できたという声を多く聞くことができました。自然の中で遊びのびと遊ぶ子供たちの姿も多く見る事ができました。子育てサロンに助産師が常駐し、専門的な相談までできたこともよかったです。 ・宣伝不足で利用者が少なかったことは、今後改善していきたいです。 					
今後の展開(自立に向けた活動)						
<ul style="list-style-type: none"> ・活動のフィールドをさらに整備・充実させとともに、イベントなど(講演・教室)を開催することで、更なる利用者の増加を図りたい。 ・メンバー募集の働きかけや、移住・定住斡旋活動などを通して仲間を増やし、幅広い活動ができる団体となることを目指す。 						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



子育てサロン:小屋内での交流



子育てサロン:屋外にて



子育てサロン:屋外にて



自然体験塾:縄文土器づくり



自然体験塾:縄文土器づくり



自然体験塾:縄文土器づくり
(野焼き)

平成 29 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	もちごめのかい		地域名	蛭川	地区
	もち米の会		会員数	4	人
ふりがな 代表者名	はやし しょう じ		延べ 参加人数 内(会員数)	430 人(93 人)	
	林 莊 司				
事業名	不耕作地を活用したもち米作り				
総事業費 内(補助金額)	133,490 円 (120,000 円)		実施期間	平成 29 年 6 月 2 日から 平成 30 年 3 月 23 日まで	
事業 ハ ン ダ ウ ン グ ラ フ 類	番号	①	活 動 ハ ン ダ ウ ン グ ラ フ 野	番号	③ ④ ⑤ ⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業の目的					
<p>蛭川下沢地域も農業者の高齢化と後継者不足から、圃場の不耕作地が年々増えて居ます。不耕作地解消で地域の絆づくりと環境整備の推進を目的とする。地域の人々の集まる機会を活用し、取り組み事業の主旨啓発を行い地域づくりとして事業推進する。</p>					
具体的な活動内容					
<p>不耕作地解消の為、地権者から圃場を借り受け「きねふりもち米」作りを有志で行う。年間を通して圃場の管理(草刈等)を行う。地域の人々の集まるイベントに参加し事業主旨を多くの人々に説明し啓発する。</p>					
事 業 内 容	主な活動の流れ				
	○もち米育成及び収穫活動実施				
	○地域の人々の集まる機会での主旨啓発実施				
	○年間を通しての圃場管理(環境整備)				
	4月	6月	8月	10月	12月 2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
<p>(活動成果)①下沢地区の中心地で不耕作地であった圃場が新緑の圃場と成り環境保全も出来た。②難しい啓発事業も恵峰ホームニュースの取材、掲載を頂きイベントにも参加しそれぞれに伝えられた。(苦勞)①長く不耕作地の為、もち米づくりでの圃場・水管埋が大変だった。②予定収穫量が無く会員のボランティア精神で経費等賄った。</p>					
今後の展開(自立に向けた活動)					
<p>それぞれの地域で不耕作地が今後も農業従事者の高齢化等により多く成って行く事と思われませんが、不耕作地は病害虫・害獣の温床とも成り、地域環境保全からも何らかの手法で解消しなくては成らないと考えます、小さな一歩ですがこの様な取り組みが全域で始まれば地域環境が保全され「住んで良かった、住みたい中津川市」に繋がれば良いと考えボランティア精神で推進したい。</p>					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

(3) 平成29年7月1日 (土曜日)

恵峰ホームニュース

配布地域：恵峰ホームニュース=中津川市・恵那市35,000部//木曾ホームニュース=木曾郡6,000部

発行所

(株)中日岐阜サービス
センター 東濃営業所
〒509-9132
中津川市茄子川中垣外1683の1388
TEL 0573 (68) 5570
FAX 0573 (68) 5100
Eメール keiho@du-net.ne.jp

門外不出!!の品種「きねふりもち」

「もち米の会」が住民と田植え

耕作放棄地でもち米を栽培し地域を活性化している中津川市蛭川下沢地区の「もち米の会」(林莊司会長)が、希望者を募って田植えを行いました。

同会は5年前、農家が高齢化し、増え続ける耕作放棄地を有効活用しようと地元有志で結成。もちを食べることが少なくなった若者たちに日本の食文化を伝えようと、80坪ほどの水田でもち米の栽培を始め、今年の正月には、左義長で餅投げを行いました。

さらに今回初めて、非農家の住民に稲作を体験してもらおうと、

田植えの参加者を公募。6月17日、2組の親子を含む10人ほどが参加して、1坪の水田で田植えを行いました



写真。品種は、杵振田。親子は、「田んぼり踊りで知られる安弘に入るのは初めて。難見神社の例大祭用につい」と真剣な表情で

くられた品種で、蛭川地域でのみ栽培されて「きねふりもち」。こがきもち」と笑顔をみせていました。千葉県から移住した桶田直子さん(43)、同会では秋の稲刈り蛭川小学校1年のも参加者を募って体験笑琳夏さん(6) 和してもらう計画です。

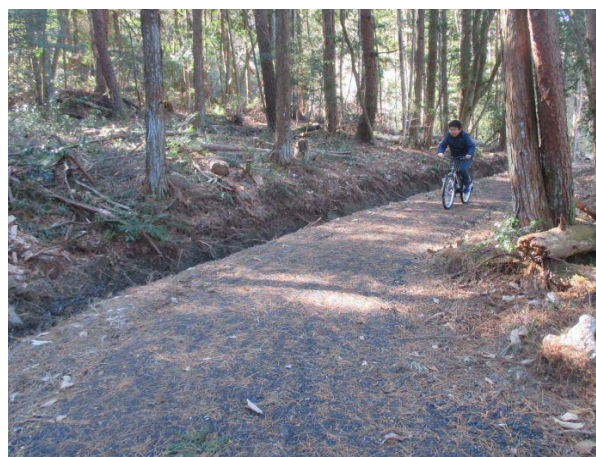
○もち米収穫/乾燥精米作業



活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



ツリークライミングクラブの指導を受けて実施



整備したモトクロス通路と遊ぶ子供 L=180m



林内の整備(チップ作業)

平成 29 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあいじゆくほんじん がいどぼらんていあのかい		地域名	落合	地区	
	落合宿本陣ガイドボランティアの会		会員数	12	人	
ふりがな 代表者名	みずの かつし		延べ 参加人数 内(会員数)	100 人(12 人)		
	水野克司			延べ100人 毎週日曜日と祝日及び予約日に活動		
事業名	落合宿本陣を活用した文化財の魅力発信事業					
総事業費 内(補助金額)	300,024 円	(300,000 円)	実施期間	平成 29 年 5 月 20 日から 平成 29 年 12 月 31 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④ ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	落合本陣の公開を昨年3月より実施しました。そこで、ボランティアを設立し、訪問者に本陣の説明と、中山道落合宿の魅力について説明しています。この為に、この事業を活用して、本陣パンフレット印刷、ハッピー製作、翻訳機の設置を行い、活動を充実していくことを目的にしました。情報発信をして、中山道落合宿や中津川市に多くの訪問者をむかえ、地域の活性化に努めていきたいと思ひます。					
	具体的な活動内容					
	3月より毎月日曜日に本陣を公開し、案内ボランティアを実施。更に祝日や予約のあった時に公開している。活動にあたっては、毎月25日に打ち合わせを実施。市とも意見交換の場を設けている。本陣の維持管理として、公開時に窓を開け風通しをしたり、室内の掃除を実施。年4回周辺を含めて、草刈り、草取りの環境整備を実施している。					
	主な活動の流れ					
	ガイドボランティア活動(毎月日曜、祝日、予約の入った日)					
	翻訳機を用いたガイド(5月から8月)					
	パンフレット製作(5月から10月)					
	ハッピー製作(5月から7月)					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
3月より活動を始め、ボランティア会員も6名から12名に増加。まずは、本陣の学習から、手探りで資料を作り始めました。外国人が訪問し、その対応に苦戦をしています。翻訳機や会員の中に英語の出来る人も加わり対応。また、中津高等学校にも相談し、生徒が通訳として参加してくれるようになりました。訪問者もなく暇な時は掃除をしたり、訪問者が多くて、十分な説明もできず、大変な時もありました。3月から12月の間で59日公開日を実施。訪問者数2845名(内外国人247名)この協働事業にあたっては、文化振興課(担当 熊崎さん)には多大な指導をいただきました。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
ボランティア活動を充実するために、自己研修を重ね充実した案内ができるよう努める。市や他の団体とも連携し、フェイスブック等も利用して情報発信を行い中山道の魅力を伝え、訪問者を増やしていきたい。今年は3月から12月第2週までの日曜日と祝日及び予約者に公開しましたが、来年は季節に応じた公開を検討し、多くの訪問者に対応したいと思ひます。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないで下さい。

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



案内資料として日本語版と英語版パンフレットを作成



翻訳機



作成したハッピー



ミニコンサートを開催（2017.6.4）

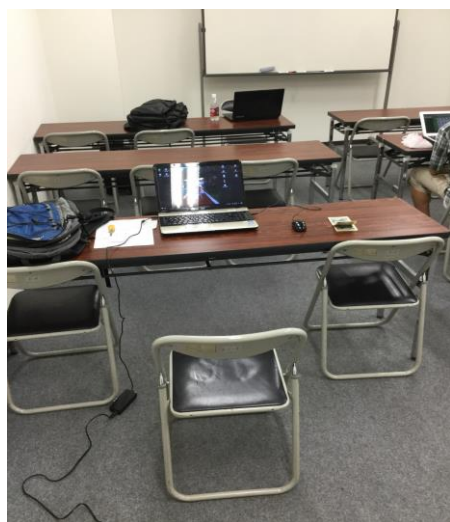


中山道祭りでの活動（2017.11.5）

ふりがな 団体名	なかつがわおるたなていぶきょうぎかい		地域名	中津川	地区	
	中津川オルタナティブ協議会		会員数	6	人	
ふりがな 代表者名	なかしまあかね		延べ 参加人数 内(会員数)	110 人(50 人)		
	中島茜					
事業名	コミュニティースペース立ち上げ事業					
総事業費 内(補助金額)	62,661 円	(50,000 円)	実施期間	平成 29 年 6 月 1 日から 平成 30 年 2 月 8 日まで		
事業 分類	番号	3	活動 分野	番号	1	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	<p>当事業は、中津川市の当事者に出会いと役割と経験を提供するコミュニティースペースを運営します。活動の中でセルフケアを学び、働く喜びを共に体験します。他者の役に立つことが自身の快復につながります。快復の力は誰にでもあります。障害があっても、なくても、どんな状況で有ってもリカバリー(自分の人生は自分で決める)できる事を信じる。それがコミュニティーの中であって、それを強力にサポートする居場所と就労機会を提供します。自己否定から自己肯定へ、今起きている人生の危機をどう乗り越えようかと考える時間があり、病気として捉えない場があることは心強く、快復への一歩へとつながります。</p>					
	具体的な活動内容					
	<p>毎月のサードオピニオン会において、当事者および支援者、保護者などさまざまな立場の人間が快復に向けての話し合いを行っている。</p> <p>当事者の快復をサポートするためのリカバリーコーチングを勉強し、講師を招いてのセミナーを行っている。</p> <p>当事者のスキルアップを目指して、講師によるホームページ作成講座を行っている。</p>					
	主な活動の流れ					
		サードオピニオン会 もったいな市出店 付知フリマ出店	サードオピニオン会 サードオピニオン会	リカバリーコーチング ホームページ作成講座 サードオピニオン会	サードオピニオン会 リカバリーコーチング	サードオピニオン会 リカバリーコーチング サードオピニオン会
		4月	6月	8月	10月	12月 2月
	具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
	<p>予想より多くの一般市民の方の参加を得られたことは対話の多様性を生み、それぞれの立場の方の気づきとなり、情報提供としても幅広く行う事ができた。</p> <p>精神不調を抱えた当事者の方は潜在的には多いが、実際に多数の人が集まる場所に出てくる事が難しい方が多く、参加者が保護者や家族、支援者の参加がほとんどになってしまった。</p>					
	今後の展開(自立に向けた活動)					
<p>地道な広報活動や口コミでの宣伝を続け当事者の参加を促していく。また、実際に当事者の方が出てこられた時に安心していただける居場所づくりにも力を入れ、よりよいコミュニティーを皆で作っていく。</p> <p>フリマの出店などを通して当事者の社会参加をする場を設け、わずかでもお金を得る事の機会を作っていく事により意欲が増し快復につながると考えている。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



当事者のスキルアップを目指して、講師によるホームページ作成講座を開催した。



にぎわいプラザ内のコミュニティーオフィスを借り、居場所を作り、会員の交流の場としても機能している。



コミュニティーオフィスの外観



全国オルタナティブ協議会主催のサードオピニオン会の様子。



当事者や快復者による手作りのツリーを作成し、名古屋でのフリマに出店した。